

呼吸器内科

患者の皆様へのお知らせとお願い

間質性肺炎に合併した肺非結核性抗酸菌症の臨床的検討

当院では、「間質性肺炎に合併した肺非結核性抗酸菌症の臨床的検討」を実施しております。この研究は、間質性肺炎の経過中に肺非結核性抗酸菌症と診断された患者さんを対象に、その頻度や臨床的特徴、そして予後について検討するものです。研究目的や内容などについては以下のとおりです。直接のご同意は頂かずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解頂き、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。万が一、この研究へのご参加をご希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、研究に関するご質問等は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

【研究の概要】

研究題名：間質性肺炎に合併した肺非結核性抗酸菌症の臨床的検討

研究責任者：天理よろづ相談所病院呼吸器内科 橋本成修、田中栄作、田口善夫

【研究の目的・意義について】

間質性肺炎は、肺胞とよばれるブドウの房状の小さな袋の壁に炎症や損傷が起こり、壁が厚く硬くなるため（線維化）、酸素を取り込みにくくなり、咳嗽や息切れ、やせが進行する病気です。今のところその原因や病気のメカニズムには不明な点が多く、治療の難しい病気です。しかも経過中にさまざまな感染症を併発することがあります。

一方、肺非結核性抗酸菌症とは、結核菌群以外の抗酸菌が肺に感染して起こる病気です。非結核性抗酸菌は土や水などの環境中にある菌で、結核菌とは異なり人から人には感染しません。非結核性抗酸菌は、陳旧性肺結核、塵肺、慢性閉塞性肺疾患（COPD）といった、もともと気管支や肺の病気を持っておられる方に感染することが知られています。間質性肺炎もそのひとつですが、その頻度や臨床像について十分わかっておりません。この研究では患者さんの臨床所見、検査所見、治療内容を含めた経過などの情報を、後ろ向きに集積し解析することによって、得られた知見を日常臨床に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

2002年1月～2017年12月の間に、当院に通院歴・入院歴のある間質性肺炎症例のうち、当院で新たに肺非結核性抗酸菌症と診断した方を対象とします。その方々の診療録などから患者背景、画像、採血、微生物学的検査、生理学的検査の結果、治療内容やその効果、転機について情報を収集いたします。

【研究期間】

研究期間は当院倫理委員会の承認日から2022年3月までです。

【倫理審査委員会での審査および研究機関の長の許可】

本研究は、天理よろづ相談所病院において、すでに倫理審査委員会の審査ならびに研究機関の長の許可を受けたうえで実施されています。

【試料・情報の管理に関する責任者】

天理よろづ相談所病院 呼吸器内科 橋本成修

【患者さんをお願いしたいこと】

今回の検討で収集する臨床情報はこれまでの通常の診療で得られた情報ですので、患者さんに新たな負担はございません。また、個人を特定できるような状態で情報を使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【研究内容の開示について】

本研究の結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。患者様の個人情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

【研究の拒否について】

上記条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、いつでも参加を取りやめることができます。その際、下記に記しました連絡先までご一報下さい。なお、拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。また、本研究の知的財産権が生じた場合、その権利は著作権者に属し患者さんには属しません。

【研究資料の入手・閲覧】

本研究の資料(研究計画書など)の入手、閲覧を希望される場合は、下記のお問い合わせ先に御相談ください。私ども研究者の合議のもと、その都度、可否を判断いたします。原則として、研究に参加する他の患者さんに個人情報の保護の面などで不利益を来さず、かつ本研究の遂行の妨げにならない場合に限り、入手、閲覧が可能となります。

【お問い合わせ先】

本研究について何か分からないことや心配なこと、同意の撤回を希望されることがあり
ましたら、いつでも下記の担当医師に御相談下さい。

天理よろづ相談所病院 呼吸器内科 田口善夫

〒632-8552

奈良県天理市三島町 200 番地

電話番号：0743-63-5611(代)、FAX 番号：0743-63-1530(代)